

産業構造審議会イノベーション・環境分科会産業環境対策小委員会（第13回）

議事要旨

日時：令和7年2月26日（水曜日）14時00分～16時00分

場所：経済産業省会議室（244 共用会議室）（オンライン併用）

出席者

梶井委員長、池田委員、石井委員、井上（和）委員、井上（知）委員、内田委員、木村委員、嶋田委員、嶋寺委員、鈴木委員、竹内委員、富田委員、町野委員、光成委員

関係者

遠藤産業環境管理協会環境管理副部門長

中村日本鉄鋼連盟環境保全委員会大気分科会主査

鈴木普通鋼電炉工業会事務局次長

門原日本鋳鍛鋼会部長

好本日本医療機器テクノロジー協会環境委員会委員長

議題

（1）産業界による自主的な排出抑制の取組に関する進捗状況について（審議）

- ・揮発性有機化合物（VOC）
- ・水銀
- ・酸化エチレン

（2）その他の産業環境対策に関する取組状況について（報告）

- ・産業環境対策に関する取組状況について
- ・土壌汚染対策法の見直しへの対応について

議事概要

資料に基づき説明を行い、質疑を行った。委員からは主に次のような発言があった。

（議題1 関係）

- ・VOCの削減と光化学オキシダントとの相関関係をはっきりさせてほしい。光化学オキシダントの発生メカニズムの解明が完全にされていない中で、VOC削減に伴う負担を継続することは事業者にとっても、経済社会全体にとっても合理的なのかどうかということについて大いに疑問。
- ・水銀の自主的取組はしっかり進めている。測定値等をしっかり出していただいて、証拠に基づいて対策を頑張っていただきたい。

（議題2 関係）

- ・処分期限後に確認された低濃度PCB廃棄物の適正処理確保の仕組みについて、引き続き産業界の意見を汲み取って、実効性のある処理体制の構築を推進していただきたい。
- ・土壌汚染対策法の見直しに向けた論点整理について、リスク評価、リスク管理の観点から、プライオリティをつけて、しっかり検討されていくことを期待している。

・GX2040ビジョンの中に産業跡地の活用や脱炭素を踏まえた工場跡地、産業の転換という観点で方針が示されたというのは非常に重要なことだと思う。適切に管理された土地を次世代に残すという観点で、こういう方針を土壤汚染対策法の改正に入れてほしい。

以上

お問合せ先

GXグループ 環境管理推進室

電 話：03-3501-4665

FAX：03-3580-6329